

2025年度入試【3年次編入学】

【人文学】

(法文学部 言語文化学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は5ページである。参考図版は1枚、解答用紙は1枚、下書き用紙は1枚である。
- 3 指示があってから、問題紙のページ数、参考図版・解答用紙・下書き用紙の枚数を確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 4 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 5 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 6 試験終了後、問題紙、参考図版、下書き用紙は持ち帰ること。

参考図版



ヴィンセント・ファン・ゴッホ 《ひまわり》 1888 年 ナショナルギャラリー、ロンドン

次の文章を読んで、後の問（１～５）に答えなさい。

（この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。）

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(渡辺実『さすが！日本語』より，一部改変)

- 問1 下線部(1)で筆者が述べていることを、別紙の参考図版を例として用いて、分かりやすく説明しなさい。
- 問2 下線部(2)について、「何だか馴れ馴れしすぎていやらしく」思えるのはなぜか、その理由を説明しなさい。
- 問3 下線部(3)について、「せめて」はどのような意味で主体的意義の言葉だと言えるか、文㊦を例に挙げて説明しなさい。
- 問4 下線部(4)について、すぐ上にある文㊥と㊧のように、対象的意義は変わらないものの、一方は敬語を使い、もう一方は敬語を使わないような、一組の文を作りなさい。
- 問5 下線部Aで述べられている、日本語の特徴に関する筆者の見解について、あなたはどのように考えるか、根拠を挙げて論じなさい。